

子供たちの自主的な「学びの場」「遊びの場」「体験の場」

岩手県一関市

■ 活動名

あこおぎ子ども広場

■ 関係する学校

一関市立赤荻小学校・山目小学校・
一関小学校

活動区分	基本データ			
	学校支援 地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度
放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	4人	17人	96日	有
コミュニティ スクール	実施場所		開始年度	放課後児童 クラブとの連携
	一関学習交流館(体育館、研修室、和室、野外 他)		19年度	有
その他	指定日	委員数	児童生徒数	学級数

※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)

活動の概要

当教室は、赤荻小学校・赤荻クラブ(児童クラブ)と隣接しており、活動場所としては非常に恵まれた環境にある。当教室の登録児童数は120名を超え、小学校全児童数の3分の1もの参加者になっている。

活動方針は、楽しみながら身に付く『学びの教室』(専門教室)を中心に自主学習や遊びを加えることで、開催日以外の日にも児童が気軽に立ち寄れる居場所を目指すこととしている。

活動期間は、各年度4月から翌年2月までの11か月間。活動日は毎週木曜日放課後と土曜日として年間95日以上開催している。

主な活動は、大きく分けて以下の2つのコースに分けられる。

1つは、『茶の湯』『習字』『そろばん』『空手』の4つの専門教室で、1人で3~4つの教室に重複して参加している子供もいて、非常に人気がある。

もう1つは自主勉強や自由遊びなどを活かした『キッズボランティア』と『チャレンジタイム』という活動である。

いずれも年間を通して活動している。

年間を通しての活動に加えて、主に夏・冬休み中に行う『特別プログラム』も年に4~5回開催している。

■ 特徴

【特徴的な活動内容】

○専門教室の開催

子供たちや保護者の方々に対して、どんな活動を行ってほしいかアンケート調査を行い、要望の多かった以下の教室を開催している。

- ・茶の湯教室…登録児童数42名(全39回)
- ・習字教室…登録児童数70名(全16回)
- ・そろばん教室…登録児童数39名(全17回)
- ・空手教室…登録児童数29名(全29回)

○キッズボランティア

キッズボランティアとして登録した子供たちは、週1回の活動の中で施設内の七夕飾り作成を手伝ったり、手話を勉強し地域の祭りの中で手話を発表したりしている。

この活動が発展し、子供教室全体で県外にある盲導犬訓練センターを訪問した。

○特別プログラムの開催

夏には『沢登り探検』『夏山登山』、冬には『しめ縄作り』などの、普段学校や家庭ではなかなか体験できない行事を取り入れた。

【実施に当たっての工夫】

○子供たちの自主性の尊重

日々の活動内容は子供たちの自主性に任せており、『専門教室』と『チャレンジタイム』を子供たちが自由に組み合わせ活動している。

○学校・家庭・地域・児童クラブとの連携

年度始めに学校にポスターを貼ってもらい、参加児童の募集にご協力をいただいている。

また、日頃から保護者の方々にも足を運んでもらうよう声掛けをし、特別プログラム開催の際には保護者の方々にも参加していただくなど、この事業に対する理解を得ながら連携を図っている。

地域との連携という点では、専門教室の講師を地域の方に依頼し、子供教室を地域の人材を生かす場としている。

さらに、児童クラブと隣接していることから、学校から帰ってきた子供たちは児童クラブに荷物を置き「いってきます」と言って、子供教室に向かうという流れができており、特別プログラム開催の際には、引率者として児童クラブの指導員の方々にもご協力をいただいている。

■ 事業を実施して

○地域から学習塾が近くにほとんど無いこともあり、子供たちからの人気が高いことはもちろんのこと、保護者の方々からも非常に喜ばれている。

○指導にあたる地域の方々にとっても自らの能力を発揮できる場として好評。

○子供たちが、学校と家庭だけでなく地域社会とも関わりを持ったことにより、大人との会話の機会が増え、あいさつもしっかりとできるようになった。



習字教室の様子



チャレンジタイムでの様子